

一般演題プログラム

口 演 発 表

口演 1 群 [自立支援]

E会場 10:10～11:10

座長：渡邊 知子（秋田看護福祉大学 看護福祉学部 看護学科）

- 01-01** 口腔ケアの統一による口腔内環境の変化
一脳卒中患者に ROAG を用いて—
本田 未優 札幌孝仁会記念病院
- 01-02** 超高齢脳卒中患者の経口摂取に向けた多職種による取り組みの効果
土田 美保子 秋田県立循環器・脳脊髄センター
- 01-03** A 病院における SST の活動と今後の課題
～摂食機能療法算定数と経口摂取移行率 3 年間の推移～
濱子 あかね 医療法人信愛会 日比野病院
- 01-04** 排泄セルフケア確立の遅れが見られた高次脳機能障害患者に対するアウェアネスへの介入
清川 智之 川崎医科大学附属病院
- 01-05** A 病院脳卒中急性期において尿道留置カテーテルが離脱できた群と離脱できなかった群の
要因分析
伊沢 明子 国保直営総合病院 君津中央病院

口演 2 群 [医療安全と倫理]

F会場 10:10～11:10

座長：山下 裕紀（関西医科大学）

- 02-01** 脳卒中ケアユニットにおける看護師とセラピストによる身体拘束最小化の効果
川原 学 脳神経センター大田記念病院
- 02-02** A 病院 SCU 病棟における身体拘束の実態と低減するための課題
板垣 美香子 札幌孝仁会記念病院
- 02-03** 看護師と理学療法士による転倒転落防止ラウンドの実践とその効果
川人 一展 公益財団法人甲南会 甲南医療センター
- 02-04** 脳腫瘍患者家族に対する代理意思決定支援についての一例
槇原 まいか 島根大学医学部附属病院
- 02-05** 尿道留置カテーテル適正使用の啓発によるカテーテル留置期間短縮と感染率低下
出口 英典 大西脳神経外科病院

口演 3 群 [患者理解]

E会場 11:20～12:05

座長：原 明子（埼玉県立大学 保健医療福祉学部 看護学科）

O3-01 脳血管障害患者に対する急性期からの心理的支援の充実にむけた取り組み

木戸地 希世美 公立学校共済組合 東海中央病院

O3-02 脳卒中患者の受診遅延と関連要因

—受診決定者の体験から見える背景—

千葉 愛弥 公益財団法人花巻共立会 総合花巻病院

O3-03 くも膜下出血患者の脳血管攣縮期における苦痛の体験

大宮 剛 旭川医科大学病院

O3-04 脳虚血症状を発症した内頸動脈解離患者の受診体験

—非典型症状を呈した医療従事者の語り—

時枝 佳世 公益財団法人健和会 健和会大手町病院

口演 4 群 [認知症・症例報告]

F会場 11:20～12:05

座長：大内 潤子（北海道科学大学）

O4-01 認知症グループホームにおける子どもと一緒に働く環境の効果

杉山 慎太郎 Caring Health Home

O4-02 A 病院の Twiddle Muff: 認知症マフ使用における課題

曾根 瑞穂 札幌禎心会病院

O4-03 「言葉が出ない」に寄り添う看護師の挑戦：

急性期 ICU での失語症患者への他職種連携支援の実践

三國 文也 横須賀市立総合医療センター 集中治療部

口演 5 群 [実態調査]

E会場 13:20～14:05

座長：木下 真吾（日本赤十字広島看護大学）

O5-01 くも膜下出血後脳血管攣縮予防のためのクラゾセンタン持続点滴に対する Midline カテーテルの有用性

増野 千江美 島田市立総合医療センター

O5-02 くも膜下出血急性期管理のイノベーション
～クラゾセンタン導入による看護業務量の変化～

宗像 亜唯 広島市立北部医療センター安佐市民病院 看護部

O5-03 血栓回収療法時の Door to puncture time の現状と看護師の意識調査

小島 友梨香 横浜国立市民病院

O5-04 脳梗塞急性期治療における診療看護師(NP)の役割

村井 祐希 NTT 東日本関東病院

口演 6 群 [再発予防]

F会場 13:20～14:05

座長：山居 輝美（摂南大学）

O6-01 A 県脳卒中心臓病等総合支援センター現状と課題
～県内一次脳卒中センター相談窓口担当者会議から～

本多 正繁 三重大学医学部附属病院

O6-02 自己効力感獲得による行動変容を目指した脳梗塞再発予防教育の取り組み(第二報)

澤田 周志 知多半島総合医療センター／集中治療室 (SCU)

O6-03 初発軽症脳卒中患者の再発予防継続のための脳卒中リハビリテーション看護認定看護師の
外来での看護実践

梶原 聡子 静岡赤十字病院

O6-04 脳卒中再発予防指導の現状と今後の地域連携を考える

藤井 美穂 脳神経センター大田記念病院

口演 7 群 [現任教育とチーム医療]

E会場 14:10～14:55

座長：岩室 理恵（聖路加国際大学）

07-01 A 病院における入院時重症患者対応メディエーターチームの活動と継続看護の現状

小西 香 社会医療法人柏葉会 札幌柏葉会病院

07-02 新入看護職員の個別性に合わせた新たな教育の取り組み

早瀬 恵美 北原国際病院

07-03 脳神経外科領域の術後管理に着目した病棟と手術室の協働の効果

月野 麻衣子 南福岡脳神経外科病院

07-04 院内発症脳梗塞対応フローの構築と院内啓発活動における効果と課題

開田 亜紀子 済生会熊本病院

口演 8 群 [在宅生活支援]

F会場 14:10～14:55

座長：内田 都（人間総合科学大学）

08-01 脳卒中を既往にもつ訪問看護利用者の実態と転帰

竹川 康代 スターク訪問看護ステーション板橋徳丸

08-02 退院後施設における高次脳機能障害支援の課題

野呂 拓夢 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

08-03 脳卒中の離島在住患者と当院近隣在住患者との比較
～離島在住患者の退院に関わる要因の調査～

長野 みのり 長崎医療センター 看護部

08-04 離島における高次脳機能障害者と主介護者の生活継続を可能にする要因の検討

津曲 真二 鹿児島国際大学 看護学部 看護学科

ポスター(示説)発表

示説 1 群 [実践報告]

3 階ロビー 10:10～11:00

座長：横井 靖子（名古屋市立大学）

P-01 脳卒中後遺症としての痛みしびれに対するケア技術に家族参加の可能性

登喜 和江 千里金蘭大学 看護学部・看護学研究科

P-02 脳卒中後に生じた痛みしびれに対するハンドマッサージの効果

—1 事例による継続的なケア介入効果—

山居 輝美 摂南大学 看護学部

P-03 高齢脳卒中患者の回復期における自尊心に着目した看護

岩本 麻生 社会福祉法人恩賜財団済生会 唐津病院

P-04 患者らしさを尊重した看護ケアが家族に与えた影響を考える

奥村 好未 東京慈恵医科大学附属柏病院

P-05 失語症患者を理解することで変化したスタッフの意識・感情

山田 真優 富山県済生会富山病院

示説 2 群 [退院後の生活支援]

2 階ロビー 11:00～11:40

座長：小西 香（社会医療法人柏葉会 札幌柏葉会病院）

P-06 A 県脳卒中・心臓病等総合支援センターにおける相談内容の実態調査

西本 尚弥 福井大学医学部附属病院 看護部

P-07 脳卒中経験者と家族を支えるサロン運営の実際

—対話から見えた医療者の役割とは—

土居 未幸 神戸市立医療センター中央市民病院 看護部

P-08 初発の軽症脳梗塞患者 A 氏の退院後 6 ヶ月のセルフマネジメントの径路

石田 菜美子 医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院

P-09 脳卒中再発予防指導が退院後の患者の行動に与える影響

大脇 真弓 JA 岐阜厚生連東濃中部医療センター土岐市立総合病院

P-10 急性期脳卒中患者へ身体拘束を行わないための SCU 看護師の思考

武内 夏妃 熊本赤十字病院

P-11 身体拘束評価シート使用したカンファレンス導入後のスタッフの意識変容

藤永 理佳 美祢市立病院

P-12 脳卒中患者の移乗・移動訓練におけるSDMの活用と多職種連携の効果
～臨地実習での看護実践の再検討～

赤尾 良樹 公益財団法人健和会 健和会大手町病院

P-13 急性期脳卒中患者の家族に対する代理意思決定支援

長田 温子 東京慈恵会医科大学附属病院

P-14 脳神経病棟における看護提供体制を考える

～セル看護提供方式®を導入してみえてきたこと～

竹内 廣美 川崎市立多摩病院

P-15 脳卒中後うつ病を早期発見するための脳卒中看護師の卓越した看護技術

～早期発見のための観察項目～

森本 朱実 関西看護医療大学

P-16 脳神経外科領域における診療看護師(NP)の活動実態

加藤 祐子 NTT 東日本関東病院

P-17 リハビリテーション科の夜勤導入に関する係わり

～認定看護師としての専門職連携実践能力を評価する～

日高 智恵子 社会医療法人社団埼玉巨樹の会 所沢美原総合病院